

令和6年度 赤穂市民病院 活動報告

令和6年7月1日

○医療圏について：赤穂市。西播磨、岡山県南東部の患者もご紹介いただきます。

○街の特徴について：赤穂市は兵庫県の西南端、岡山県との県境にはさまれ、瀬戸内海が一望できる美しい街です。年間を通じて温暖で雨量の少ない瀬戸内海型の穏やかな気候に恵まれ、赤穂城址をはじめとした赤穂浪士ゆかりの史跡や赤穂義士祭を見に多くの観光客が訪れます。令和6年度2月時点の総人口に占める65歳以上の高齢化率は約34.8%（神戸市29.0%）、75歳以上の高齢化率は19.9%（神戸市16.5%）と高齢化率は年々上昇しています。

○赤穂市民病院について

- ・病床数：360床（うち感染症病床4床）
- ・院内常勤医師数：56人（フルタイム以外4人）
- ・養成医派遣数 初期研修：6人
前期派遣：6人
後期研修：0人
後期派遣：1人

・養成医派遣診療科：

内科(3)、外科(1)、整形外科(1)、循環器科(2)

○養成医派遣各科診療の特徴

内科：内科は上級医5名（うち男性医師3名・女性医師2名）、専攻医5名（うち男性医師1名・女性医師4名）で構成されており、主治医制で働いています。育児経験をもつ女性医師や乳幼児を育てながら勤務している専攻医も複数名おり、女性もキャリアと育児を両立できる体制が整っています。内科 Josler で必要となる症例はほぼ全て経験できることはもちろんのこと、irAE 心筋炎や好酸球性心筋炎、アスペルギルス感染症、サルコイドーシス、アミロイドーシスなど比較的珍しい症例を担当することもあり、様々な手技や透析管理などを習得できます。希望があれば、国内/国際学会、講演会、勉強会、論文作成など様々な方法で知識をアウトプットする機会も多くあります。消化器内科・循環器内科は常勤がいますが、血液内科・神経内科・呼吸器内科・膠原病内科などは非常勤となっています。

外科：外科はメンバーは4人で、専攻医1名、スタッフ3名です。消化器外科全般の手術をほぼ毎日行っており、腹腔鏡下肝切除等の肝胆膵手術も当院で施行可能です。乳腺外科は外勤の先生が主に診て、手術もあります。心臓外科も頻度は多くないですが手術があり症例集めにも役立ちます。若手にも積極的に症例を回してくれるので、頑張りたい先生にもおすすめですし、仕事が多くなりすぎないように調整もして下さっています。夜間は内科外科それぞれ1名と研修医での当直で、主に外科系疾患を見ますが、アナフィラキシーや脳梗塞、

めまいも外科が診るので、ここら辺が難しいと感じるときはあります。

整形外科：整形外科は、スタッフ 2 名と専攻医 1 名があります。手術はほぼ毎日行っており、主に骨折に対する手術が 8 割ほどです。その他は肩や股関節、膝の変性疾患に対する人工関節置換術や肩・膝の関節鏡手術もあります。専攻医は 1 名だけしかいないので、ほとんどの外傷の手術の執刀を担当することができます。他院では専攻医が複数おり、手術に助手で入ることは多いものの執刀数は少ないことが多いので経験を多く積むことができるのが魅力です。外来は週に 2 回あり初診の患者さんを見るため初めは知らないことが多くて戸惑いますが上の先生にすぐに聞くことができなるとかこなせています。また、忙しすぎるということもなく、空いた時間や仕事終わりにはしっかりと手術と外来の勉強時間を確保することができるのでバランスとしてはとても良いと感じています。

循環器科：当科は 5 名（上級医 3 名・専攻医 2 名）で構成されております（専攻医のうち 1 名はローテート専攻医）。日常業務としては、入院診療・外来診療に加えてカテーテル検査・治療、PM・ICD・CRT-D 留置や電池交換、心臓リハビリ、経食道心エコー図検査、各種負荷心エコー図検査、負荷心筋シンチグラフィ、CPX、心エコー図検査・Holter 心電図検査の所見付け、その他の循環器救急対応といった多数業務をこなしております。主治医制・当番医制であり、24 時間体制で緊急対応可能です。カテーテル業務に関しては CAG, PCI, shunt PTA, EVT を中心に、診断カテーテル検査において微小循環障害などの診断目的で pressure wire での評価を積極的に施行しております。神戸大学からの外勤医師がおり、知識 update・discussion を行いながら診療にあたっております。西播・東備地域の中核病院として、数多くの症例が集まる病院です。PCPS を用いた ECPR といった超急性期治療から心臓リハビリや心不全指導などの日常生活レベルでの診療まで幅広く、地域の循環器診療の砦として貢献できるよう努めております。

○地域医療活動・病院外活動等の特徴・実績

訪問診療：開業医で対応困難な症例を当院からの訪問診療で補っている。内科医と専攻医/研修医の 2-3 名のチームになって週 1 で行っている。気切チューブや胃瘻チューブ交換、CV ポート穿刺、コロナワクチン、ボツリヌス療法など、診察以外にも処置があることが多い。

有年診療所：兵庫県指定の 46 か所ある僻地診療所の 1 つで、その地区にある唯一の医療機関である。そのため小児から高齢者までどなたでも受診していただけるよう内科医と専攻医が週替わりで診療に携わっている。相談内容は多彩かつ多岐にわたり、部位の特定されない「痛み」「だるさ」「体調不良」などの相談内容から何に困っているかを読み取り、身体診察と心電図、ポータブルエコーのみで診察をすすめていき致命的となりうる疾患をも拾わなければならない難しさがある。

○病院の推しをひとこと

勤務時間や働き方は診療科によって差はあるものの、今後の進路や希望するワークライフバランスに応じて専攻医ひとりひとりにあった自由度の高いローテーションスケジュール

を組むことができます。